

出前講座「下北ジオパーク」って何？

【目的】

ジオパーク推進員として地質学・地理学など学術的な研究をされた方の講演を聞き、これから下北ジオパークについて探求する上で必要な基礎的な知識を知り、生徒が地元地域への愛着をもち、地域課題を考察する姿勢を身に付ける事を目的とする。

【実施日】 令和5年5月17日（水）

【講師】 むつ市企画政策部ジオパーク推進課 ジオパーク推進員 朝日啓泰 氏



【生徒たちの感想】

- ・小学校、中学校でたくさんジオパークについては触れてきたが、正直忘れていた部分もあったので思い出すことができた。「ジオパークとは何か」という根の部分を知れて良かった。聞いたたびに新しい発見があるので楽しいです。
- ・たくさんの事について詳しく説明していただきました。普段あまり自分たちの住んでいる町の魅力に気付くことができなかつたが、講演を聞いて自分たちの住んでいる地域がとてもいい場所だと再認識できました。
- ・ジオパークは下北のイメージが強かったが全国にたくさんジオパークがあることを知って視点が変わった。そして、ジオパークの活動はイベントだけでなく、それらを「守る」「知る」「活かす」ことが大事だと知った。
- ・エリアひとつひとつに歴史があり、何億年もの前のものが今、観光スポットとして多くの人に見られていることに感動しました。大湊の水源地公園は釜伏山から流れてくる豊富な水を海軍に供給するために作られたことを知りました。